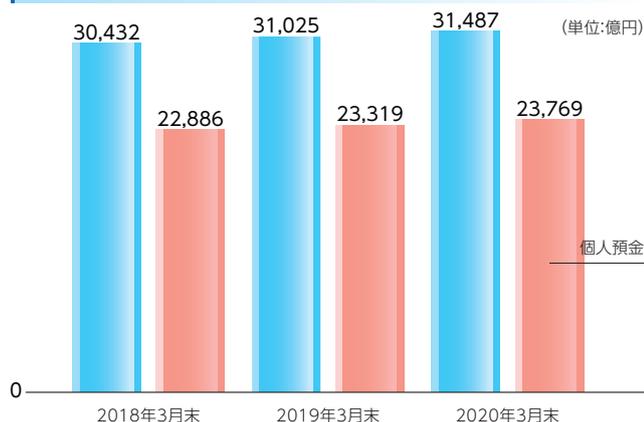


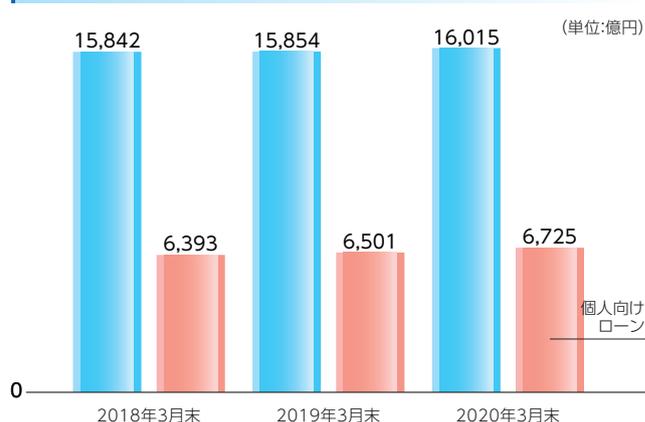
2019年度 業績ハイライト

預金積金



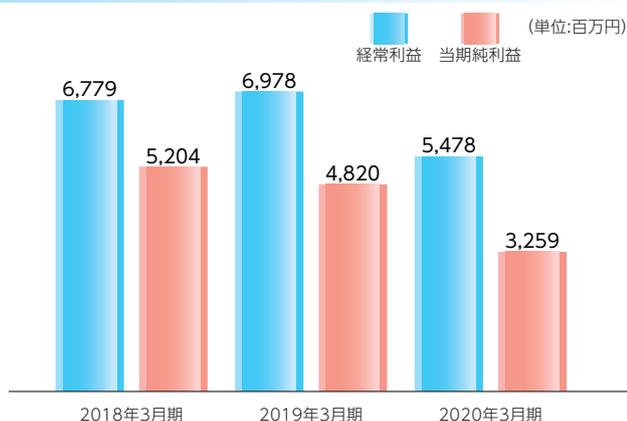
預金積金は、前期末比461億円増加し、期末残高が3兆1,487億円となりました。うち個人預金は2兆3,769億円となりました。

貸出金



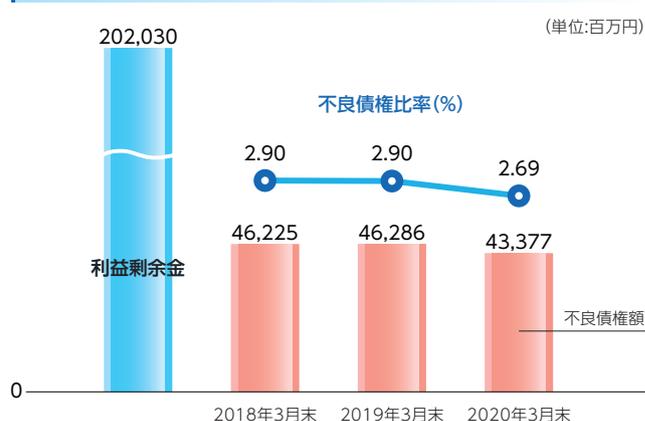
貸出金は、前期末比161億円増加し、期末残高が1兆6,015億円となりました。

損益状況



経常利益は54億78百万円、当期純利益は32億59百万円となりました。

不良債権の状況



金融再生法ベースの不良債権額は433億77百万円となりました。

自己資本比率



単体自己資本比率は、12.09%で、国内基準4%の3倍を超えており、当金庫の経営が健全かつ安全であることを示しています。またリスクへの備えとしての自己資本額は8億円増加して2,051億円となり、当金庫は全国レベルから見てもトップクラスの体力を備えています。

